京城新聞

殖民地の貿易策（一）

法學士 山内正瞭

殖民地の貿易に對し、本國は之れを其の成り行きに一任すべきものなるや、將た或る程度まで干渉を試むべきものなるや、孰れが果して有利なるべきかとの問題は、最近世界各國經濟社會が著しき發達を加へてより、以來學者、實際家間に漸やく研究せらるゝに至れり、若し、干渉主義を採るときは爲めに本國殖民地間の貿易は旺んなるを得べしと雖も、外國と殖民地との間に於ける貿易は、自然衰頽に歸するを免かれざるべく、之れに反して、放任主義を採るときは、右と全く反對の現象を生ずるなるべく、是れ兩者主張の根帶を爲すものなり、往昔、政治區域は直ちに經濟區域を表彰し國際間貨物の移動の如きも亦從つて困難なりし時代にありては、此の問題も、一議に及ばずして、容易に解釋せらるゝを得しならんも、今日の如く、世界を擧げて一團の經濟區域たらんとする傾向をすら見るに至りては、兩者の間利害得失の分るゝところ決して判別し易しとは謂ふ可からず、

一、各地本位貿易政策

或る自由主義論者は對外貿易は勿論、殖民地に對しても、亦た保護奬勵の如き人爲的政策を加ふるの不可なるを說けども、彼のアダム、スミスも其の著書に於て說けるが如く勞力は最も運搬の困難なる貨物の一にして、同一國內にありてすら、之れを一の地方より他の地方に移すことは人情其の他錯綜せる原因に依り、容易に行ふ能はざるところなり、左れば、國際間に於ける勞力の移動の如き、殆んど望み難きものと稱すべく、資本にありても、亦た之れと等しく金融機關の發達に伴ひ、資本が金利の高きに就くこと、恰かも水の低きに赴くの狀に異ならずなど稱へらるれども、幷は今猶ほ一の理論たるに止まり、實際斯かく容易に資本の移動は行はるゝものにあらずして、政治區域か直ちに經濟區域たることは、依然として渝る無きを以て、徒らに殖民地の貿易を放任すべきものにあらずとは是れ內地本位主義者の論據とするところなり

內地本位主義を採れる者は、更らに右の論據を確實にするが爲め、政策上殖民地と本國との關係を密接にし、外國に對して自國の經濟を獨立せしむるの安全なるに若くもの無きを主張し殊に本國が所謂發開國に屬するものにして、其の經濟の基礎を商工業の上に置き、而して食料品及び原料品等を其の殖民地より得る狀態にある如き場合には、此の事一層緊要に感ぜらるゝとなし、其の結果として、本國にありては、直接其の商工業に從事せる者を始め、一般人民まで、其の殖民地に依りて克く低廉なる食料品及び原料品の供給を受くるを得可きのみならず、其の精製品は、又殖民地に依りて

綿貨に消費せられ能ふ可きが故、外國經濟界の消長の爲め、容易に其の影響を蒙むるが如きあらざるべしと述べたり、

慶尚南道 泗川 農商狀況（三）

△作柄 本郡は概して水利の便あり前記固城地方の如き旱害の患稍々少く加ふるに本年は插秧後の照り込み十分なりしかば其生育頗る良好なり而して早稻出穗季に於る暴風にて多少の被害ありたるも全体を通じて昨年より約一割乃至一割五分の增收ならんと云ふ畑物は旱害及風害の度甚だしくして大豆及綿花等は昨年に比し約三割方の減收なるべし

△商況 近來米豆類相場下落の爲め出穀殆んど絕無にして雜貨等の賣行良好ならず本郡內の在留者中本月（九月）中に[illegible]たるもの三戶あり一般商況甚だ振はずと雖も本年は前記の如き作柄なれば今后々恢復せらるゝに至るなるべし

△通貨 上納期に多少新貨の流通あるも一般取引は殆んど葉錢のみ使用せり

△人氣 平穩にして本邦在留官民に對し反抗する等の模樣なし

△附記 當地には韓國勸業株式會社及韓國拓殖株式會社の出張所なり主に土地買入、金錢貸付等（利息月五分位）を營めり又韓國人經營の日語學校あり目下生徒十五名を敎育せり

俳句

○吟光會小集 秋扇、菊、

山科に貸屋敷あり菊の秋　射石

僧正の妹隱れ住む菊の里　同

豆菊に頰白のなく山家かな　同

拾扇秋の拾遺の一句かな　同

俳句書かで白きが儘の秋扇　同

菊の銘に玉山と云を選び發　せきち

菊に遊ぶ高麗八に强ひ亭の銘　同

白菊に狐の遊ぶ日和かな　同

會遊の句拾てあれす秋扇哉　同

いと長き深紅の房や秋扇　同

名ある菊を娼家に見たり白眉玉　飛天子

白眼に世を見る菊の主かな　同

白菊や高麗燒を估りに來る　同

秋扇の强ひられし嵯峨の館　同

燈爐るや山番小屋の拾團扇　同

銀屛や遊鳳凰は黃菊の名　白濱

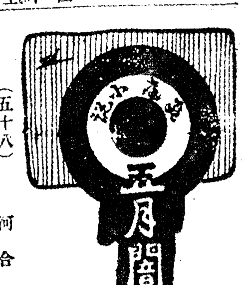
乱菊の花屑捨つる畑かな　同

（新刊紹介）

●東京經濟雜誌 依例有益なる記事のみを以て誌上を飾り居れり「清國貨幣統一の決行を望む」「鐵道公債問題の落着」「京都市の三大事業」「馬券賣買と賭博」等は時節柄世人の一讀すべきものなり（一千四百六十三號一部十一錢東京京橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社）

●韓國中央農會報 單に斯道に趣味を有するもののみならず韓國に在住するものは一度眼を通すべき雜誌なり內容は眞面目にして統計的の記事のみを以て埋め而も執筆者は何れも斯道の專門家なり（二卷八號一部二十錢京城大和町韓國中央農會）

●銃獵界 今や銃獵の好時季となれり愛獵家は勿論愛獵家たらざるも參考迄に一讀すべき價値あり（四卷八號一部十一錢橫濱市本町金丸銃砲店發行）



（五十八） 河合柳葉

「これ君子、れ前は泣いて居るではないか、何んで泣くのだらう、何が悲しいのだ」と、顔に袖を押當て居る君子を、頻に慰めて居るのは爲雅侯である。君子は瞼の邊に赤くなつた顔を懶げに仰けて、殊更調子を曇らして。

「先刻れ屋敷から參りましたれ手紙の御樣子で見ますると、女などを連れて歸ること[illegible]

私はこれきり御前とた別れ申さねばならんかと思ひまする、そ、それが、かなしうございます。」と、又涙を袖に拭ふ如き樣子をすれば、爲雅侯はカラ／＼と高く笑ふて、

「なんだ馬鹿々々しい、それで那樣に泣いて居るのか、いくら屋敷から何と云つて寄來した所が、予が好で勝手に連れ歸るものを誰が何と云ふものか、豫々申聞かせた通り設へ親戚其他から故障を申すものがあつても、決して見棄るやうな事は致さないから安心するが宜い、うれに、これきり別れるが悲しいなんと云つて泣くものがあるものか歸る時には必ず連れ歸るから安心して居るか宜い。」



君子もやゝ機嫌顔に

「私はまた、あゝ云ふれ手紙が參りましたから東京へはれ供は叶はないかと存じまして、ツイ悲しくなつたのでございます、では、れ手紙は參りましても、矢張れ連れ下さいますんでございますね、本當にれ嬉しう存じます。」

かゝる折しもたの室より大山が、靜かに襖を排けて、

「一寸れ目通り致したう存じます。」

「近う進め。」

大山は其まゝ室に入つて

「只今滿川君から書面が着きまして、披いて見ますると、相變らず嚴しい事を云つて寄來しましてございます。」

「何んと云つて寄來した」

「御前の御病氣が御全快遊ばしたのは、此上もない歡びで、謹んでれ祝ひ申上げるが、何か病中のれ世話を致したとかで、女をれ連れ歸りになるやうな通知であるが看護婦ならば御病氣御全快の上はれ連れ歸り遊ばさる必要もないやうに考へる、若し普通の女中であれば、當時屋敷には女中も澤山居る事でなれば態々遠方よりれ連れになるにも及ばぬと思へるから、私より御前へ申上げてれ止め遊ばすやうに取計らへと、それは／＼嚴しく書いて寄來しましてございます。」

「ハヽヽ、相變らず嚴しい事を云ふ爺だなア予の許にも母から同じやうな事を云つて寄來したが、察する所相談の上寄來したので

「しかし、何とか申して遣らなければならんかと心得ますが、奈何計らひましたものでございませう。」

「宜しい打棄て置け、若も連れ歸つた時其方に何とか申したらば、種々申したけれど聞入れがなかつたと斯樣に云つて置け、予が愛する女を連れ歸るに左や右申す事があるものか。」

「委細畏まりましてございます、シテ御歸京は愈々十日と極めまして宜しうございませうか。」

「うむ十日と極めて宜しい、シテ明後日は別杯を酌む積りだから、其の用意を命じて雅樂を始め夫々案內狀を出して置け。」

「はい、畏つてございます。」

▲無料紹介欄▼

人事部

姙婦產婦の依頼に應ず但貧困者に限り無料 京城南山町二丁目百廿番戶內務省免許產婆原口都矢（九四）

夥多義齒挿入せしも未だ曾て當院技術に遠く及ばず其妙々なる口中頗に青春を迎へ候事茲に深く感謝申候 京城齋藤齒術院御中 東京國民新聞社員山本（九五）

●酌婦三名入用 太平町一丁目田舍家（九三）

[illegible]入用 年齡十七歳より廿五六歳迄 一名入用但料理店に心得の有る者なれば宜し 大和町一江戶善（七九）

●年齡廿五歲（妻帶者）何社銀行等の小使に雇はれたし 姓名在社（八〇）

●十四五才の小僧入用 但身元引受人を要す 氏名在社（八三）

清語 夜間七時より九時迄教授す 南大門通南門湯裏相生町一〇 清語速成學會（八五）

電話至急讓渡たし 姓名在社（八六）

小供入用 但十八以下 氏名在社（八七）

●雇れ度 年廿五歲にして普通敎育あり体格極めて壯健何處にてもよし至急雇はれたし 氏名在社（八八）

●年二十四調劑の心得あり醫院病院の藥局生に雇はれたし 姓名在社（百）

●玉突場ゲーム取 十五才より二十才迄の男女各一人入用相當の手當を給す 龍山旭橋通原田興吉（九六）

●廣島縣人石塚正一氏に面會したし 本町四丁目知人（九七）

人力車夫至急十五名募集 氏名在社（九二）

店員入用 年齡を不問市內に確實なる保證人あるもの 永樂町一丁目電三六二番 今嗣（一〇二）

古荷車安價にて讓り受けたし 永樂町二丁目三六二番 今嗣（一〇三）

●雇ひたし 石鹼製造に經驗あるもの至急入用 氏名在社（一〇四）

●呉服商に多年經驗あるもの雇はれたし年十九 氏名在社（一〇五）

●官衙の給仕に雇はれたし年十八 氏名在社（一〇六）

●被雇度 豫備役海軍一等機關兵年廿六歲機械罐の運轉取扱へ雇はれたし普通學有韓語に通ず給料多きを不望 氏名在社（一〇七）

物件部

一本町より明治町に入三軒目空地三十坪丼附の貸家あり 櫻井時計店（七八）

●望借家 六疊四疊半各一溫突一間並押込炊事場付の家を借りたし 氏名在社（八九）

空地七十坪ヲンドル九間格安賣渡したし 氏名在社（九〇）

貸地 旭町一丁目高燥風景善き土地四十坪あり御望の御方は下名へ 電話四九四番 清韓洋行（九一）

賣地 本町八丁目通り地所貳百坪溫突八十八間の建家共至急賣却致度御希望の方は御來談を乞ふ 姓名在社（九八）

賣地 本町八丁目通り地所四十坪溫突十間建家の儘格安にて至急賣却す 姓名在社（九九）

賣地 京仁線富平停車場近所在上水田四石落安價にて賣却す希望者は至急申込あれ 旭町二丁目京城興信所（一〇一）

京城新聞

官營事業

天日製鹽に就て

官營事業に三種あり、一は國民の知識幼稚にして企圖する能はざる爲に政府は之が模範として卒先以て之を起業する所謂保護政策是なり、二は社會主義より來れる所謂社會政策として總てを國家の事業として政府が之を監督する是なり、三は單に政府の收入を增加せん爲に政府が之を專賣となすこと是なり、而して第一に屬する官營事業は國民の幼稚なる時代には國家の殖産工業を發達せしむるに大なる効力あるべし、第二に屬する社會政策として總てを國家の事業とすることは今尚は世界の學者が研究中にして其可否を知らず、將來自由競爭の激烈なるに從て其弊害を矯正する爲には或は可ならん、第三に屬する政府が收入を增加する爲に利益ある事業を官營となすことは特種の事情あらざる限りは採用すべきことに非ず、之を決行するには政府の權力擴大なれば容易に行はるゝものに非ず、獨逸の如きは第一第三を併行して着々好成績を擧げつゝあり、之が爲に日本に於ても近來獨逸に習ひて頻に官營を始めたるも政府の能力が獨逸の夫れに及ばざるか良好の成績を擧げたるものなし、日本に於ても明治政府の初めに於ては大久保甲東の如き巨人が保護政策を採り幾多の事業を官營として其模範を示し大に國民を指導したりき、斯く保護主義に依りて民間の殖産工業を發達せしむる爲に政府が卒先して之をなすは國民の幼稚なる時代に於ては必要となす、然るを日本は近來財政上の困難を救はんが爲に單に其弊ある官營のみを行ひたる爲に今や其弊に堪へざらんとす、獨逸の保護政策を採るならば總てを採るべし、由來政府の事業は民間に於て經營するよりも多額の費用を要する爲に好結果を得る能はず、日本に於ける製鐵、造船、製絨、精糖等幾多の官營事業に徵するも明なり、多くは失敗して其影さへ止めざるものあり、要するに政府の事業として其原料の供給に不便ありて民間の個人にて之を爲す能はざるが如き場合に於ては政府の權力に依り之を遂行すると云ふ特種の事情ある場合には可なれども、普通の場合には政府事業は費用多くして利益少なし、故に政府の事業に就ては昔より學者の議論ありて今に其良否は定らざるも事實は往々其非を示すの傾あり、官營事業に就ては當局者たるもの大に考慮せざる可らず、

聞く韓國政府は天日製鹽を官營事業とせらるべしと、余輩は決して之を非議するものに非ざるも、其目的が單に政府の收入を增加する爲に企てらるゝとせば大に其政策の誤れるを斷言せずんばあらず、而して天日製鹽には特種の氣候と特種の地勢と特種の藏水などを得ざれば良好の結果を得るものに非ず、當局者に於ては夫々研究せられたるべしと雖も萬遺算なきことを望まざるを得ず、而して此事業を以て全く國家の爲に計るならば保護主義の精神によりて爲さゝる可らず、目賀田顧問の經營にも煉瓦及び印刷製紙の如きを官營として施設されたるも其精神は全く保護の目的にて他日は民間に拂下ぐるの計畫なりと聞く、此方針に依りて經營さるゝならば韓國の如き幼稚なる國に於ては一の政策として官營も可なりと雖も、近來日本の官營主義が往々適用されんとする傾きあれば天日製鹽の如きも或は日本の專賣式とするに非ざるかを氣遣ふ、斯くして國民に不便を與ふと共に日本よりの輸入鹽を驅逐するが如きは最も愚策たるを免れず、當局者のよく深く此點に顧みて大に慎重なる考慮を運らさゝる可らず、余輩は敢て之が注意を與へんとするものなり、

東京電報

▲韓國貸金成立

日本興業銀行にて韓國への貸金二千萬圓は倫敦巴里のシンヂケートと交渉中なりしが議漸く熟して首尾能く成立せり(六日發)

▲議會召集期

議會召集令は一兩日中に桂首相參内奏請すべく多分二十四五日頃招集せらるべし

各地電報

▲廿餘名の強盜

四日午後十二時平安北道義州郡威遠面閑家洞朴某方に強盜二十餘名闖入し日本人一名韓人五名に重輕傷を負はしめ多數の物品を強奪して逃走せり強盜は支那人なるが如し(五日義州發)

雜報

●狩獵法の制定

狩獵法の制定は夙に統監府農商工務部に於て立案せられたるも未だ發布の運びに至らずして今日に及べるものなるが農商工部は今回此れが發布をなす筈にて更に同法の調査立案中にして近々專門の職員を傭聘すべしと云ふ

●韓太子と陸軍大演習

韓太子殿下には陸軍大演習を陪觀し詳細復奏すべき旨金侍從武官に御下命ありたるを以て金武官は來る七日李軍部大臣と共に發京演習地に出向する由なるが金武官は日露戰役には我第一軍に從ひ實戰の經驗ある人にして今回殿下より此命を受けたるは自分に取りて大に益する所あるべく殿下の御周到なる御注意は辛返感佩に堪へずと語り居れりと

●各大臣歸城延期

昨夜歸城の筈なりし[illegible]視察中に李總理以下各大臣は一日滯在し今夜歸城する旨電報ありたり因みに出張の各大臣は李總理宋内相閔宮相任度相にして同地方視察中の李學相も同伴歸城する筈昨報の誤傳を訂正す

●東洋拓殖株募集

東洋拓殖の株式募集は二日より日韓兩國百八個所の取扱銀行にて申込を開始し募集總株數十三万九千株なれど、内三万株に對しては韓國側にて土地提供の筈なれば實際は一万餘株に過ず、而して更に皇室及び皇族の御申込株を優先として控除せば殘餘株數十万株以下と爲るを以て、募集結果は案外好成績を得べく、東京は該株募集に對し冷靜なるも大阪名古屋を中心とし京都、神戸、彦根地方の實業家、資産家は熱心應募[illegible]るべきと疑ひなきが如し、併し當局者は滿鐵株募集當時の如き好景氣を望まず、又財界の平調を紊ださゝるに努めつゝあれば、應募額は二倍位なるべきかとの想像なり

●拓殖株と經濟界

東洋拓殖株式會社は創立以來着々として諸種の準備を完成し今次愈株式の募集に着手せるが經濟界不振なるにも拘はらず應募額は豫定の數倍に達すべき模樣なり、之に就き會社側の意見は財政の整理と共に折角調和せんとしつゝある經濟界に向て徒らに波瀾を起さしめ一面世の投機熱を昂起せしむるが如きを好まず寧ろ消極的の應募額を歡迎する由なれども既に國家的事業殊に保護國たる韓國の文明を誘掖啓發するの目的にて成立する以上は世人の信頼固より尋常の比にあらず從て豫定に幾倍する應募額を見るは亦必然の趨たるべし尚同會社副總裁は未定なれども吉原前内務次官の呼聲盛なるが如し

●湖南鐵道の募株

湖南鐵道株式募集の準備に就き誘導委員韓基準氏を全羅南北道に派遣したる結果北道廿八郡南道三十二郡にて十六万株募集韓氏は更に忠清南道に派出し該道郡守會議に提出して同道十七郡にて三萬株募集の約あり京城にても一万五千株位の募集あるべく全体にては三十萬株に達すべし會長俞吉濬氏も大に勉め居れりと云ふ

●妻木博士の舊王城參觀

來京中の妻木工學博士は本日景福宮を參觀し其の建築物の研究をなしたるが同博士は本月十日頃出發し馬山釜山等を視察の上歸朝する豫定にして滯在中は時々建築場に出頭諸般の工事上に關する指導監督をなすと

●滿鐵の造林經營

既報の如く大連滿鐵出張所の計畫に係る同經營は愈々去二十一日より着手せしが右營林は大連東方の山野一帶にして反別二十三町餘歩に櫟實を播種し他日風致林となす目的なりと云ふ因に當地土人の許する處に依れば櫟林は播種後約四年にして幹の發育約三尺に及ぶを通例とすれど地質の肥瘦に依りて一樣ならざるは勿論なれど該地の如き膏沃の地にありては極めて速なる發育をなすべしと云ふ

●草苅場の紛擾

京畿道始興郡上北面(京仁及釜鐵道分岐點の西方)なる約七百町歩の未墾地は曾て殖産會社と雲峴宮の係爭あり未落着の儘となり居るものなるが今回日本人櫻井某は度支部より該地の雜草苅取の許可を得其の苅取に着手したるに洞民より民有地侵害の故障を申出で觀察府に於て實地調査をなしたるも廣漠たる原野にして官民有の區劃判然せず去りとて此の儘に放任せば意外の紛爭を生ずる[illegible]あるを以て其の境界の確定する迄[illegible]中止[illegible]と云ふ

●若林總監の巡視

新任の若林警視總監は來る九日十日の兩日所管内の各警察署と皇宮警察とを巡視する筈なりと

●妻木博士の港灣實視

妻木工學博士が一昨日下仁し港灣視察をなしたることは既報したる所なるが同博士が宮木稅關長及藤宮技師の案内にて港灣視察をなしたる模樣を聞くに同一行は稅關小蒸漁宮丸に乘じて小月尾島方面より徐々荷藥島に至り附近の漁場視察をなし歸途態と同港外港より内港に入る迂廻航路を通過し同港灣改良の如何に困難なるかを見且つ宮木稅關長及藤宮工學士に就き港灣の性質及び現在狀況を委しく尋ねて歸港したりと

●韓人辯護士試驗

既報韓人辯護士試驗は志願者十三名あり本月十六日より法官養成所に於て施行す

●仁川民團委員會

第二回民會に於て委員附託となれる仁川病院規則改正の件を討議す可く第二回委員會は一昨日午後六時三十分より仁川民團役所樓上に於て開かれたり當日の出席者は加來、田中、穎原、青木、伊東、奥田の六氏にて暫く議論を上下したる後折角發達せる病院を今遽に廢棄し若くは姑息の縮少を加ふるが如きは此上もなき民團の不面目なれば爾後經費も尨大を來さゝるやう適宜の處置を採り尚は一層發展を期すべしとの說多數を占め結局縮少案なる原案を否決し先づ段落を告げ午後十時三十分散會したり昨日午後稻田、八田、加藤、奥田の諸議員仁川民團役所に參集し第一回民會の際委員附託となれる第二回答案及通路變更の件に關し調査委員會を開けり

●仁川昨今の金融

仁川昨今の金融界は先づ小緊期とも云ふべき時期にして穀類の入津輸出は未だ頻繁を極めざれば從つて資金の需用勘少なるも要するに十日を過ぐれば出廻米激增すべきを以て各輸出商は資本の準備をなし居り又一方冬物仕入れに多少資金の流動を見たると支那商人が上海に於ける金融界の不況を見て仁川より爲替を組むもの頗る多かりし爲多少金融に變動を來したるも同地に於ける三銀行は出穀期を見越して資金の準備をなし居たるを以て目下の所手元は比較的に潤澤にして金利も去月より更に上下を見ず最低三錢より最高三錢四厘までの所にて貸出し居れり

●安東縣の終航

仁川安東縣の航路は一昨日仁川を出帆して安東縣に向ひたる大阪商船の福州丸を以て終航となるが今尚多少同地行の貨物あるを以て大阪商船にては更に來る九日仁川出帆の基隆丸を以て同地に向はしめて終航とする筈なりと

●仁川と社外船

大阪商船、日本郵船、尼ヶ崎汽船の三社仁川支店が本社に對して韓國航路の增船方を要請し大阪商船は既に去月より數隻の準定期船を航行せしめ居ることは既報したる所なるが社外船側の意嚮を聞くに目下の所にては同港の入津船も未だ頻繁を極め居ると云ふにあらず且つ相場不引合にて昨今は輸出殆んど皆無と云ふ現況なれば仁川取扱店に於ては今の所其增船方を本社に請求し居らざるも出穀期に入りて輸出米類々として出づる際に當りて數隻の增船をなすことは既に交渉を了し居れりと

●太平町の會合

全町にては衛生組長辭任以來是迄一回の會合もなかりしも爾來種々協議を要する件もあり親睦方々一昨五日午後七時同町快樂庵樓上に町内會を開催し湊憲太郎氏是迄の種々の報告及び前評議員諸氏に向つて一片の謝辭を述べ尚自分は先般組長を辭任せしも更に今後は公共の爲め盡すべく諸君に於ても盡力あらんことを希望すとの意味の挨拶をなし續て町内の親交を計るため協議する所ありしが從來至て無意味なる太平町組合は更に活氣を以て成立し組合長に湊憲太郎副組合長兼會計に工藤喜代治推薦し申合規約の起草委員として菊田眞氏を推し其外評議員若干名は組合長より依頼することに決議、快談の内に散會せしは午後十二時なり因に他會には何等の抵觸することなく單に町内の親和を謀る便宜上より起りし簡易なる會合なりしといふ

●鐵道時間改正と義州行

鐵道管理局全線の列車時刻は既報の通り來る十一日より改正に就ては十日より十一日に渉り新舊時刻移替りの爲め十日釜山發午後八時新義州行直通列車は同日より改正時刻即ち釜山驛午後九時三十分發に又十日草梁發午後七時三十分釜山行列車は同八時五十五分草梁發九時釜山着に變更し尚十日午後十時四十分南大門發釜山行の新義州釜山間直通列車は南大門局を左の時刻に變更し大田以南は改正時刻に依り共通運轉する由

郎

南大門發午後十時三十五分永登浦發同十時五十八分水原發十一時三十五分成歡發翌午前〇時三十一分大田着午前六時十三分大田發より改正時刻に依るべしと

●駐滿師團と二年兵制

滿洲駐屯の第十師團は内地師團同樣本年は二年兵役實施の筈にて歸休步兵約三千及び特科兵三年除隊兵約八百は何れも本年内に歸還除隊され本年入營の新兵は多分内地衛戍留守部隊にて第一期教育を施し渡滿せしむる事となるべし

●徵兵入營の乘車賃

當韓國に在留し且つ檢査を受け本年現役兵として入營する者にして各自其居留民團役所より乘車證明書の交附を受け之に現役證書を添へ最寄停車場に申出づるときは入營[illegible]といへば此者は可く早く此便宜法に依るを可とすべし

●軍司令部の休業

六日は靖國神社の祭日に付軍司令部は六日休業せり

●軍隊歸還

第五十一聯隊大隊本部及一ヶ大隊は六日午前十一時十分南大門發歸還せり

●居留屆數

五日に於ける居留屆數は三百二十五件なり

●仁川稅關監視船

櫻井丸は本日釜澤監視官を乘せ沿岸各港に寄港し鎮南浦に赴く筈なり

●外國船入港

チャンチャオ號は上海より歐州雜貨若干個を積載して本日仁川に入港なる豫定なり

●足立氏の園遊會

過日釜山に轉任せる元十八銀行仁川支店支配人足立瀧二郎氏は來る八日仁川の官民數百名を招き盛大なる園遊會を催すべしと云ふ

●河内山書記官の出張

河内山度支部書記官は造幣局に於て執行する韓國貨幣試驗に立會の爲め大阪に出張を命ぜられ明日出發す

●岡運輸部長の出發

鐵道管理局岡運輸部長は竹内屬を從へ七日午前七時十分南大門發淸國鐵道視察の途に上る

●柔道教師青柳喜平氏

曾て京城に於て柔道の師範をなしたる同氏は今回韓國十三道を跋涉し京城に來られ大和町一丁目神崎福次郎氏方に滯在せらる

●火災寄附

九日龍山元町火災の際罹災者救助金品寄附者特に付其の爲め[illegible]統監より夫々木杯下賜せらる

木杯一組 廣瀨長康、伊藤智祐、木村稔、山田巳吉、松本勝太郎、湯川多吉、福井ユキ、中村再造、京城民團役所、松尾勝太郎、執行勝太郎、山崎彌助、三木熊之助、松村泰輔、藤永寅賢、高橋龜之助、村井甚七、岩田次郎、岡井泉

木杯一個 杉原春藏、依田文吉、北川重吉、田邊政齊、林武之進、熊沼平兵衛、藪城松次郎

公人私人

●敍任辭令

任郡主事判任三等 道主事 金寬善

依願免本官 郡主事 金應三

給六級俸 郡主事 金寬善

依願免本官 同 鴨川清十郎

依願免本官 監獄通譯 權五鳳

依願免本官 統監府通譯生 倉元大喜

依願免本官 統監府臨時間島派出所技手 前田顯三

▲高濱文太郎(新義州營林廠一等主計)一昨日入京浦尾旅館

▲矢田興之(石川縣農業株式會社々長)同上

▲北尾榮十郎(同社取締役)同上

近事片々

▲拓殖 會社創立委員某の談に依れば會社の副業として農學校創立の必要を說けりと

▲一應 理屈らしく聞ゆれ共未だ韓人をして農學を修めしむるの域に達し居らざる也

▲韓人 は勞働に使役すれば可なり實地に就て農事の進步を促さしむを以て足るべし

▲農學 校を起すならば在留邦人の子弟を入校さするの目的ならざる可らず是必要なる

▲韓國 開拓は一に邦人の手に依らざれば良好の成績を擧ぐ可らず韓人を賴むは非也

▲指導 の宜しきを得ば韓人と雖も大に發展すべしとは皮想の愚論なるを免れざる也

▲先づ 移住邦人の力に依て經營し其成るに及で徐うに指導すべし其間は只使役せよ

▲之に 反して韓人を主として經營を始むれば失敗其當に在り大に考慮を要する所也

▲拓殖 會社も矢張り帝國本位の方針に非ざれば其發達の到底遲々たるを免れざる也

▲米國 大統領の撰擧も畢る勝利は終にタフト氏に歸す而も大多數により撰擧せらる

▲民主 黨も奮闘したりブライアン氏も奮戰したり而も共和黨の勢力地盤は堅固也

▲帝國 の對米策より云へばタフト氏の勝利を以て良しとなすブ氏には甚だ氣の毒也

▲ブ氏 屢々候補に立ちて一度も月桂冠を得ず遺憾なるべきも氏の雄心は尚磊々たり

▲兩氏 の人格より論ずれば或はブ氏タ氏に優らんも政策よりせばタ氏の當撰は可也

▲ルーズベルト氏政策の繼襲者としてタフト氏は最も恰當の人米國の活氣は依然也

▲今回 の撰擧にはル氏も大に盡力たる者の如く極力タ氏に應戰せり氏の意や知るべし

▲ル氏 の帝國主義的政策は稍々緒に就きたるのみ氏が同主義の後繼者を望むや宜也

▲タ氏 當撰してル氏意を安じて退職する事を得べしタ氏の當選はル氏の留任に同じ

▲ル氏 の亞弗利加遠征の期も近きにあらん之れ實に猛獸を狩るのみに非ざるべき乎

▲露國 は墺國のボスニアヘルツェゴヴィナの合併に果然反對の意を表白せりと云ふ

▲英國 も亦同樣の態度に出づべきか茲に於て獨逸は如何にして之に對せんとするや

▲獨相 ビューロー不評判にして退任の說あり渠の立場の隨分困難なる大に察せらる

▲カイザル時々言責を取られ之が尻拭は何時もビューローの役目併し中々豪物也

筆のまにく

●未明

窓際に立つ、朝未明なり、殘んの星淡く北に光る。天に在りては星よ、地に在りては菫よと人の子等、その淸きを歌ひ、その聖を詩に賦して、ヤンヤと稱贊へしも、時は之れ縱遷す、今や星菫の二字は、果敢なくも墮落女學生の代品詞となり了んぬ。ア、獨星よ罪あるにあらず、獨菫よ犯せるにあらず、……免れ得ざればなり。

●朝

雞サリヨーの洞羅聲去つて、キッ〳〵と水運ぶ音す。空鑵を以つて、半桶代りに利用する智あれども、一己を處し、一家を整し、延びて一國を料理するの術策を知らず、惜むべき哉、大韓國の草奮、何ぞ長夜の眠を破らざる。

●夜

天に連らる雲もなく、冴わたる晩秋の月よ。東のかなたに吾が郷あり、文明の光輝けど人は競走の修羅の巷に驅けりて、悲風至り、慘雨來りて、平和の風のそよがざるぞ憂てき。

ア、吾が老ひたる父、妻なき幼な子を抱きて此の歳ひ、巷に眠る不知今果して何等かの夢をか結ぶらん、我れ之れを思ふて感慨無量不覺潸然として膝を霑せり。

●判任官殿の艶福　南山町二丁目に長崎しるこ御酒肴と障子へ書いた飮食店あり甘黨から辛黨の連中が毎晩引きも切らさぬ大繁昌醉つて管卷くものもあれば青い顏して下俯きながらしるこを食ふものもありヨボチョンガー官吏商人の別なく押し寄するさまはナカ〳〵盛大なものなるがサテ此の家に今年十七の春を迎ひた許りのれマサとかいふ娘あり長崎辨の言葉遣ひはチョッコン感心せざれど唯いかさま感心するのは天が成せる顏容鼻が高うて眼が涼しく口元尋常で色白く此れで男が惚れねなら三千世界に惚れる女はあるものかと親爺が自慢するのも道理客〳〵が鼻に目尻を下げぬ男はなきが爰に統監府に勤め居るものにて熊本縣生れの立野とかいふ判任官殿が時々しるこを食ひに來る中いつしかれマサを見馴め或る時ソレとなくしるこの椀でさとせしに魚心あれば水心ちやうれマサもアジな眼付きで斯うと男に知らせしがソモ〳〵の切ッ掛けソレよりといふものは二人が仲は日に増し深くなり近頃にては何うあつても晴れて夫婦になりたいとソレ〳〵仲介人を賴みて二人の親許へ交渉中なりとかいふマッ〳〵以て艶福なる判任官殿といふべし

●家券から悶着　西部需洞二十三統十戸李東勘（三四）なるもの一昨日午後七時頃が高景烈、張金禮、李明植及安宅照なる四名のものを引き連れ銅峴分署へ出頭し訴へ出で言ふやう自分は客月六十圓許り金の要り道ある所から此れなる景烈に向つて家券を抵當に六十圓の金を調達し與るゝやう依頼し右の家券を托し置きたりしに其の後何日經れども金を調達し呉れず餘りの不思議に探りを入れて見しに李は不都合にも家券の手に入りしを幸ひ之を他の三人と共謀し宅照方に同居せる金姓女なる者に對し如何なる譯にや僞せ家券を示して六十圓を借り出し其の金をば四名にて分配し自分の家券を隱匿し呉れざるより可然處分の程をとの事に警察にても捨て置けず昨今共謀者四名のものを留置し取調べ中なり

●長唄嗜好會設立の趣旨

何れの殖民地も初めに於ては清雅の樂少き爲に酒色の樂に耽けるぞ是非もなし新しき社會の氣風を健全にするには清き娛樂を供するに若くはなし京城も在留者の增加するに從ひ清き遊戲の必要を感じ夫々嗜好によりて謠曲に淨瑠璃に其他演藝の類の會催さるゝも未だ長唄の催會なし長唄は我國の歌舞音曲中にて高雅なるものゝ一にして文章と云ひ節調に於ける價ひあるも今や同好相集りて嗜好會なるものを設け斯道を研究すると共に京城の娛樂界に一の清趣を添へんとす幸に同好諸君の贊助を得て斯會を盛にし互に相樂むことを得ば本懷の至りなり

明治四十一年十一月

林　玉　華　白

十一月九日午後正五時巴城館に於て開催

第一回開催番組

曲目	役	氏名
吾妻八景	歌	廣重いし子
	同	木下とく子
	同	廣重おさ子
	三味線	本森のぶ子
	同	福井すへ子
	上調子	岡安喜美勝
四季の眺	歌	大内ゑん子
	三味線	和田末子
	同	同　松子
外記猿	歌	岡田鬼千代
	三味線	岡安喜美勝
	上調子	和田末子
筑摩川	歌	某
	三味線	某
賤機帯	歌	芳村幸十郎
	同	林　玉華
	三味線	岡田鬼千代
	上調子	岡安喜美勝
元祿風花見踊	歌	和田松子
	三味線	同　末子
小鍛冶	歌	林　玉華
	同	芳村幸十郎
	三味線	岡田鬼千代
	同	福井すへ子
	上調子	岡安喜美勝
	笛	松本まさ子
	鼓	藤本きく子
	太鼓	木下とく子
勸進帳	歌	某
	三味線	某
七福神	歌	一　同
	三味線	一　同

以上

主唱者　芳村幸十郎　林玉華

（御贊助の諸君は擲翠樓内林玉華宛にて御一報被下度候）

●或は然らん　照町三十五番地森貢一が一昨日所用ありて大和町一丁目内藤正一郎方へ赴きたる處其時持參せし二十四圓在中の手提鞄及び三圓余の花簪一個紛失せしより其筋に届出でたる所其筋にては正郎方のヨボの崔永江なるものを嫌疑者として引致したり

●注意すべし　一昨日銅峴分署に於て駱洞の蝸甫屋を一々檢黴せし處恐るべし十五名の有毒者を發見したりといふ

●變死者　四日午後二時頃西部北芝坊の小路に於て一名の韓人倒れ居るを巡回の巡査之を認め取り調べたる所此の者は京畿道果川郡上非前洞の者にて死因は腦充血と判り家人を呼び出して引き渡したり

●嬰兒死骸發掘さる　一昨日午後八時頃本町九丁目裏の金といふ韓人が何氣なしに裏手の畑に至りしに其所に嬰兒の死骸が何者にか發掘され居るを發見せしかば早速斯くと警察署に屆け出でしに取り調べの結果嬰兒は生後六ケ月位を經しものゝ如く埋めありし穴の深さは三尺餘なるも唯不思議なるは其の穴の底に日本人の十文位の足袋埋めありしとの事なり

●巡査を擲る　龍山漢江通り四丁目二十番地寺口方太田常次郎（三九）大林組中間大吉（三〇）外數名のものは一昨日午後何所で飮んだか非常に酩酊し軈て一同京城に遊びに赴かんとて電車にて南大門迄來掛りしに前記の太田が電車賃の事から車掌と喧嘩をブッ始め結局警官の手を煩はすことゝなりたるが其の際太田を始め一同の壯者は右より左より巡査をば亂打せし爲め巡査は正服を破られ鼻血を出すといふ騷ぎの所へ他の巡査加勢に來り一同を引致したり

●勳章を拾ふ　昨日午後四時頃龍山十五間道路に於て日露戰役從軍紀章を拾ひたるものあり早速南部署へ屆け出でたるが心當りのものはなきにや

●下宿屋の科料　明治町三丁目下宿業阿部龜太郎は去月二十六日以來五人の下宿人ありたるにも拘はらず其の筋へ屆け出でざりし爲め一圓九十錢の科料に處せらる

●出方の科料　旭町一丁目歌舞伎座居住重政亮は過日同町二十四番戸淺野正之助より鷄冠石及鹽酸加里を買ひ求め正之助方前にて大なる爆聲を發せしめ人を驚かしたる事あるにも係らず不實の申し立てをなしたる爲め一昨日南部署にて二圓五十錢の科料に處せらる

夫の呼び方

相對の場合には「あなた」が普通である、下等社會に「れ前さん」なる呼方もあるが此れは感心しない、併しマッ概して此の二つの呼び方に止るやうだ、又他人に對して「やど」と一口にいふものもあるが這は人に依りけりで、ハイカラな三枚櫛の奥さんが「やど」などといつては釣り合取れない尤も身分相應な女に言はして置けば少しも耳障りではないソコへ行くと「主人」「あるじ」などは正しく温なしやかな言葉である、殊に商人の細君の口から聞く時は如何にも愛嬌のあるやうに聞ゐる、併し之も中流以上になると適當でない場合もある、すると姓か名かを呼ぶやうになるが何ちらかといふと名よりは姓を呼んだ方がよい、所で旦那なる言葉もあるが之れは目下に向つて遣ふ言葉で目上に對しては遣へない、又近頃「先生」といふ呼方も流行して居るが此の言葉は書生が醫師なり何なり自己以上のものに對する敬語で有つたのが患者が遣ふやうになり何時しか醫師夫人も夫を先生と呼ぶやうになつて了つたのである又「うち」のがといふ呼び方もあるが此の言葉はアッサリとして些しも嫌味がないやうである

●腸窒扶斯　蓬萊町二丁目驛夫篠田孝之助（三三）は五日腸窒扶斯に罹り龍山避病院へ送らる

●南山本願寺説教　本日は土曜日に付例の通り午後七時半より説教あり

◎暗黑なる朝鮮　夙に聰邁驍妙の筆を以て江湖に其の名を馳せる薄田斬雲氏の著なり四六版二百六十七頁の瀟洒なる冊子觀察の犀利なる描寫の精緻なる將た材料の豐富なる確に朝鮮の暗黑面をサラケ出して餘蘊なしといふべし文章は例に依つて例の如くサラ〳〵として茶漬を食ふが如し、今著者の序に曰く「本書は朝鮮の暗黑面に向つてマッチ一本を擦り付けたに過ぎない若し夫れ炬火を投ずべくんば此書記載の各項目が各千頁の大冊を要するであらう併し暗黑な溜突にはマッチ一本の閃光も無きに優る事萬々であらう……」されどマッチは耐久的のものに非ず炬火と雖も亦然り知らず太陽と迄は行かざらんも確に電燈の光り位なるを而り而も陸館影暗きオンドルの朝鮮の裏面を知らんとするものは是非とも一讀すべき良書なり（一冊六十錢京城本町二丁目日韓書房發行）

（平）（民）（文）（康）

▲貴社の無料紹介欄は端書で申込めばそれで出して戴けますか（新町の牛）▲その筋の小言）▲仁川の醬油會社が燒けたので私しは困つた（漬物好き）▲湯錢を二錢均一にしては如何（長屋連中）▲新町皆春樓の菊花を見てごろうじ奇麗なものだす（加藤清正）▲南大門が落成したから其の披露會はありませんか（近所の露店）▲ありません（受付生）▲マー失禮な人の目を盗んで戀文を送つたりなんかして再びそんな事をなさると警察へ訴へますよ（十八の娘）▲出齒●●●●り家多き京城の事なれば注意めされよ（同●●●●歐の小僧）▲韓人町を通行すると臭くさくて大きに困る何んとか工面はつかぬものかな（新田義貞の子孫）

落語

湯屋番（四）

三遊亭圓遊口演

若「アヽ那人が亭主でゲスかへ其奴ア好うがすな夫おアや一ツ貴郎の手蔓で私は那の湯屋へ奉公に行きませう

親「ナニ湯屋へ奉公に行く夫やア何うも感心だ辛抱が出來升かい

若「出來ますとも其内に亭主が肺病で死にませう親類相談の上で外から養子杯どを爲るよりも馴て居るから那の番頭を二度へ直すが好いと云ふんで當人同士は互ひに思ひ思はれて居るから直と此處で相談が纏るホラ財產を六萬圓貰ひませう其內和郎さんにお神輿詰に成たと云ふんで婚礼入費と爲て一萬圓進らア……マヽ好いから遠慮を爲ずに取て置なさい

親「未だ貰やア爲ない實に驚いた此人にやア乃公ア

若「一萬圓貰つたと思つて今二圓下さいナ（手を出す）

親「悠氣な人間だねへ亭主は中々病ふ樣な男おやア有ませんョ背中に灸の跡が一ツも無い位な男なんだから……

若「オヤ〳〵弱ッたねへ何處かに煩つて居る亭主の家は有りませんかなア

親「湯屋が好いんでゲスか

若「ヘエ湯屋に限るんで……

親「然うサなア坂井湯も丁子風呂も山田湯も……皆何うも湯屋の亭主は薪を割たり運動を爲るから丈夫だねへ

若「困りましたなア何處に有ませんかナ心當りは

親「アヽ有る〳〵赤坂の萬年湯の主人は何だか近い内に六ケ敷からふと云ふ評判だ那りやア何うでゲス

若「れ神さんは女は好いんですか

親「夫がサ嫌な女で……

若「夫やア不可ません、家の財產はありませうか

親「貧乏で一昨日執達吏が來た

若「オヤ〳〵重ね〳〵だ

親「外に心當りは無いねへ

若「宜う御座います左樣なら私は運にまかせて小傳馬町の櫻湯へ參りませう

親「行くかい……

若「運を天に任して出掛ます

親「夫ちやマア貴郎は然う云ふ變り者だから然う云ふ目的が無かつたら辛抱が出來ないだらう夫を樂みに御出でなさい

若「御手紙でも願つて……

親「ナーニ跡から直に兄哥が出まして證文取極杯も致し升からつて

若「ヘエ……往て參り升

親「能くねへ途中を氣を注て車にでも突當つちやア不可ませんョ

最新家庭用燃料 無煙煉炭 特色 火付善く火力耐久價格低廉

用途 瀛鑪、暖爐、竈用に適す

周防德山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場 京城特約店

京城南大門通 電話六〇三番 巴商會

韓國一手販賣 京城本町二丁目 神田組

木炭大安賣

今般山元と特約し良炭多數荷着致候に就ては特別の廉價を以て大賣出仕候間多少に拘らず御用命の程奉願上候

京城本町三丁目

硝子商 林豐商店



祝開業三週年

謹啓弊店儀開業以來不淺大方諸君の御愛顧を蒙り以御蔭盛況に相向ひ候段奉深謝候就ては開店三週年に相當に付今回メリケン、タバンス保險附最新式流行形各種入荷致候間平常の御愛顧に酬ゐんが爲め十月二十五日より十一月三十日迄非常なる大安價にて大賣出仕候間賑々敷御來店何卒多少に不拘御用命の程伏て奉願上候

尙除與として金額以上御買求めの諸君には至極面白き趣向の福引券を進呈可仕候

但時計に限り御買求の上御氣に相不叶候節は向ふ一週間內に現品引替にて代金御返戾可申上候

京城本町四丁目

中村時計商店

特別裁縫

最新式冬服新荷着

背廣 半トンビ 詰衿 各種

京城明治町一丁目

東京塚原支店

原雄吉

薪炭

現品各種取揃居候間多少に不拘御注文を乞ふ

京城旭町四丁目電話一九八番

眞下大吉商店

龍山十五間道路陸軍倉庫東隣 電話二〇四番

眞下大吉支店

京義線物開驛前

眞下大吉出張所

上等石炭各種

並に無煙炭販賣

京城本町二丁目

林田交換所

電話六十五番

學校用品 一手販賣 各種雜貨商

商品一切各製造元ト特約致居候

價格一定廉價ヲ以テ販賣仕候

池田長兵衛本店（京城本町三）

池田用達部支店（京城鍾路）

倉庫增築落成廣告

資本金 金十五萬圓

政府貸下金 金廿八萬圓

諸積立金 金二萬六千圓

京城南大門外古市町

漢城共同倉庫株式會社（電話五四四番）

出張所々在地 仁川 平澤 江景 麻浦

營業 倉庫 一般の業務

商品擔保貸付 保稅貨物 稅關貨物取扱人

右の業務廣く各位の御需めに可應候尙近日運送業並に外國火災保險事務取扱を開始可仕候條轉々御取引被下度候

▲移轉廣告▼

寒冷の砌各位益々御淸榮奉賀候弊店儀從來明治町一丁目に於て營業罷在候處今回業務を擴張し左記へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉希上候

京城南山町二丁目

帝國一 中村支店

主任 下川淸太郎

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

（電話二五一番）

和洋酒、（の）精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尙御望に依り商品切手調進仕候

高等 御下宿

辻家

京城明治町一丁目

荒川繁尾

▲轉宅 荷物運搬

（京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負）

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尙は弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其賠償の責に任じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り二丁目二十番戶三浦商店向側

有田運送店

店主 有田豐太郎

開業三週年祝賀賣出し廣告

各位益御隆盛之段奉賀候隨て弊店儀當地開店以來三週日に增繁盛に赴き候段全く御愛顧諸彥の賜と奉拜謝候就ては聊經年の祝意を表する爲來る（十一月六日より十日迄）五日間紀念として粗品進呈仕度何卒平素に倍し御來店御愛顧の程偏に奉希候

和洋紙、和洋諸帳簿、人名簿

新版唐紙、紙形、文房具類、活版印刷

折手本、畫帖、其他小間紙類一切

京城本町壹丁目郵便局前

北內商店（電話近日開通）

貴婦人用さくら紙發賣元

同本町五丁目

同支店（電話架設中）

直輸入外國莨御披露

一トルコ紙卷 エジプト紙卷

一ハバナ葉卷 マニラ葉卷

其他パイプ、ケース、等附屬品一切右新荷物到着に付此際特別廉價を以て大勉强販賣可致候間御試驗の上御用向の程願上候

京城本町一丁目

トルコ煙草日希商會

D. C. MENTASCO.

莨物 煙草小賣

高等 御下宿

南山町一丁目

澤田館

懇切と叮嚀とを旨とし調理方にも萬端注意して御扱申候間一層御愛顧の程奉希上候

雜誌 大阪佛敎取次所

左文字屋

取次電話八四九番

神佛葬具請負

並に佛具販賣

葬儀者は特志取扱申候

京城南山町四丁目（花月向）

常盤劇

十一月三日より

毎日午後時五開幕

伊井蓉一座開演

京城歌舞伎座

統監府御用

諸官衙人力車

荷物荷造及運搬

伊藤組

營業 京城曙町（電話七三番）

本店 同本町三丁目（電話四〇番）

日本郵船株式會社

瀛船仁川出帆廣告

電話十番

仁川海岸通

貨物及船客取扱店

郡回漕會

電話三九番

京城南大門通

巴商店

電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 十一月廿日後三時出

●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 十一月十日前五時出 山東丸 十一月 日後一時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十一月十九日後一時出

●釜山出帆、元山浦津、浦鹽行 立神丸 十一月十一日

●新潟丸 月日正午 大連行

注意 御乘船ノ際一般棧橋波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金四十五錢 三ヶ月前金壹圓 六ヶ月前金貳圓 郵稅一ヶ月金拾參錢

●廣告料 五號活字十九字詰一行一回金四十錢 廣告五號活字十九字詰一行後五十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城新聞社 京城西署四小門通 電話六六三番